

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日		30年 6月 26日		
事務事業名		検診等事業費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち				課名	健康づくり課		係名	
		2-1 健康に暮らすまちをつくる				シート作成者				
	施策	2-1-1 自らの健康づくりの推進				予算費目	会計	一般		
							款	4		
主要施策	② 各種健診の充実				項		1			
	⑥ 感染症対策の推進				目		2			
個別計画名										
住民との関わり		特になし								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	20歳以上の女性 40歳以上の男女			各種がん検診等の受診を勧奨し、疾病の早期発見・早期治療を目指し、住民の健康を支援する。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		対象年齢のいる全世帯に検診申込書を配布し、受診希望者を募り検診希望者には受診票を送付する。検診結果により要精密検査の方には専門機関の受診を促し、疾病を早期発見・早期治療する。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度（年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
根拠法令・要綱等		健康増進法								
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0		27,459		33,150				
財源内訳	国庫支出金				336		366			
	県支出金				911		854			
	地方債									
	その他特定財源									
一般財源				26,212		31,930				
直接事業費（千円）A				27,459		29,850				
人件費（千円）B		0		0		3,300				
内訳	一般職員（人・千円）		人	0	人	0	0.50 人	3,300		
	臨時職員（人・千円）		人	0	人	0	0.21 人	0		
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度		
					目標	実績	（目標）	（目標）		
	①	各種検診受診者数		人	12,000	11,654	12,100	12,200		
	②									
③										
説明	各種検診を受診された町民の延べ人数を指標とする。									

事業名	検診等事業費	シート作成課	健康づくり課
-----	--------	--------	--------

一次評価者	健康づくり課長	二次評価者	福祉部長
-------	---------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
<b>必要性</b>	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	検診は疾病の早期発見・早期治療を行うために必要です。なお、市町村は、健康増進法第19条において各種検診の実施について努力することが規定されています。
<b>有効性</b>	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	町民に年1回検診を受診する機会を提供することは健康の維持増進には有効です。
<b>達成度</b>	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	今後更なる受診率の向上に努めます。
<b>効率性</b>	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	国保加入者には特定健康診査と同時に受診できるよう工夫しています。

本事務事業の実施適切性の説明

町民の方へ受診勧奨し、受診者の増加に努めることは、疾病の早期発見、早期治療はもとより、疾病を予防する意識の啓発にもつながります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
今後の改革・改善目標	より多くの町民に検診を受診してもらえよう、わかりやすい検診の申込案内に努めることが必要です。また、受診勧奨を工夫するなど、インセンティブを高める必要があります。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	2	4	B	A
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
コメント	早期発見・早期治療を行うため、がん検診受診者数が増加するよう、さらに啓発に努めます。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--